	儿未同节	専門学校	開講年度	平成30年度 (2	2018年度)	授	業科目	環境と	 社会	
科目基礎										
科目番号	-C11311X	0015			科目区分		一般 / 必	 修		
		講義			単位の種別と	単位数	学修単位: 2			
			~		対象学年		専1			
		後期			週時間数			後期:4		
		10.00.00	*** 用しない		ASCE 1 FOR A		12/4111			
担当教員	(1)	_								
<u></u>	西	1470 19	/顺个 1 心 3							
				いたまのマナフ						
② 環境。	と社会の関れ	こ、氏法や用りのについて	削法など、法の観点か て、歴史的視点から訪	から説明できる。 説明できる。						
ルーブリ	ノック								T	
		理想	!!的な到達レベルのE	冒安 標準的な到達	レベルの目安	最低限の (可)	到達レベノ	レの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	1	理解 に追 を含	駅と環境問題に関するが、ともに相当レベル しており、今後の課題 めて、客観的・論理的 りできる。 法解釈と環境問題に関 理解が、ともに一定レ に達しており、かなり 的・論理的に説明でき		に一定レベル、かなり客観	法解釈と環境問題に関する 理解のどちらかが少し物足 りないが、それなりに一貫 性のある説明ができる。		いし物足 つに一貫	法解釈と環境問題に関する 理解が、どちらとも少し物 足りないが、問題点は説明 できる。	
評価項目2		環境 てに、 よっ 実を	意と社会の関わりにつ 十分な基礎知識をも 多様な視点にバラン く目配りしつつ意見と	と社会の関わりについ 十分な基礎知識をもと 多様な視点にバランス 目配りしつつ意見と事 明確に区分しながら説		環境と社会の関わりについて、6割程度の基礎知識をもとに、一部の視点に目配りしつつ意見と事実を混同しながらも説明できる。		楚知識を 点に目配 見を混同	環境と社会の関わりについて、基礎知識は6割未満で、多様な視点への言及もなく意見と事実を全く区分できない。	
学科の到	到達目標項	目との関	月 係							
教育方法	 去等									
概要		第4学期本講義に開設され	は、人間性豊かな技術	活を育成するため(○教員 2 名で打ち合わ	こ、「地球的視 りせを行いなか	点から物 ら、幅広	事を考える い多様な視	能力を育 点から講	成すること」を目標として 義を展開したいと思う。	
授業の進む	め方・方法	講義はⅠ	[部構成になっており)、 I 部はレポート(こよって評価し	、Ⅱ部は	発表と試験	を行う。		
注意点		成するこ	は資料として判例の一 こともある。Ⅱ 部では O場合、評価点が低く	脚に分かれて報告	・質疑応答・整	。グルー: 理を軸に	プワークの 授業を進め)一環とし)る。その 	て、班ごとにレポートを作 ため、報告・質疑や整理に	
授業計画	画	L.	15.Wk 1 = 5			\		-		
		週	授業内容				週ごとの到達目標			
		1週	I部の導入			シラバスの概要を説明できる。				
		2週	環境と法1 不法行為としての公害							
			1				不法行為。	上特殊不法	长行為の違いを説明できる。	
		3週	環境と法1 不法行	う為としての公害		公害事 判例の	不法行為。 件に関する 立場を説明	と特殊不法 る資料を誘 月できる。	5行為の違いを説明できる。 表み、事件の概要及び争点、	
	3rdO	3週	環境と法1 不法行 環境と法1 不法行			公害事 判例の 公害事	不法行為。 件に関する 立場を説明	と特殊不法 る資料を誘 月できる。 る資料を誘	芸行為の違いを説明できる。	
	3rdQ			う為としての公害		公害事 判例の 公害事 判例の 「人間 きる。	不法行為。 件に関する 立場を説明 件に関する 立場を説明 以外が訴記	と特殊不法 る資料を読 引できる。 る資料を読 引できる。 公を提起す	は行為の違いを説明できる。 たみ、事件の概要及び争点、 たみ、事件の概要及び争点、 たみ、事件の概要及び争点、 なること」の問題点を説明で	
	3rdQ	4週	環境と法1 不法行	テ為としての公害 適格		公割例の 公割例の 公割例の 当例の 「きる。 会 の の の の の の の の の の の の の	不法行為。 件に関する 立場を説明 件に関する 立場を説明 以外が訴記 、企業の 問題を説明	と特殊不法 3 資料を記 3 資できる。 3 資できる。 公を提起す しきる。	は行為の違いを説明できる。 たみ、事件の概要及び争点、 たみ、事件の概要及び争点、 たみ、事件の概要及び争点、 すること」の問題点を説明で 事件を「刑事訴訟」として扱	
後期	3rdQ	4週 5週 6週 7週	環境と法1 不法行環境と法2 原告通	テ為としての公害 適格		公割例の 公割例の 公割例の 当例の 「きる。 会 の の の の の の の の の の の の の	不法行為。 件に関する 立場を説明 件に関する 立場を説明 以外が訴訴 、企業の 問題を説明	と特殊不法 3 資料を記 3 資できる。 3 資できる。 公を提起す しきる。	は行為の違いを説明できる。 たみ、事件の概要及び争点、 たみ、事件の概要及び争点、 たみ、事件の概要及び争点、	
後期	3rdQ	4週 5週 6週	環境と法1 不法行環境と法2 原告返環境と法3 刑事事	テ為としての公害 適格		公害事の 料例の 事の 「きる」 公害際の 「部の」 「部の」	不法行為。 件に関する 立場を説明 件に関する 立場を説明 以外が訴訴 、企業の 問題を説明	上特殊不法 3資料を3。 3資できる。 3資できる。 公を提起す こできました。 したました。 いて時間内	は行為の違いを説明できる。 売み、事件の概要及び争点、 売み、事件の概要及び争点、 すること」の問題点を説明で 事件を「刑事訴訟」として扱 内にレポートを作成する。	
後期	3rdQ	4週 5週 6週 7週	環境と法1 不法行環境と法2 原告通環境と法3 刑事事中間試験	T為としての公害 適格 事件としての公害		公害例の 公害例の 「きる」 「きる」 「きる」 「きる」 「きのの」 「いった」 「しった」 「いった」 「いった」 「いった」 「いった」 「し。 「し。 「し。 「し。 「し。 「し。 「し。 「し。 「し。 「し。	不法行為。 件に関する 立場を説明 件に関する 立場を説明 以外が訴訴 、企業を説明 内容につい スの概要を	上特殊不法 3資料を 3百で料を 3百で料を 3百でを提起す ここでを BT BT BT BT BT BT BT BT BT BT	は行為の違いを説明できる。 売み、事件の概要及び争点、 売み、事件の概要及び争点、 すること」の問題点を説明で 事件を「刑事訴訟」として扱 内にレポートを作成する。	
後期	3rdQ	4週 5週 6週 7週 8週	環境と法1 不法行 環境と法2 原告通 環境と法3 刑事事 中間試験 II 部の導入			公害事の 公判の事の間 「きる」 公う際の 「部の」 シラバ	不法行為。 件に関する 立場を説明 件に関する 以外が訴記 、心理を説明 内容につい スの概要を ギーについ	上特殊不法 36で表 36である。 36でを提した。 27でで明ででいる。 27でで明では 28でではいる。 28でではいる。 28では、 28では、 28では、 28では、 28では、 28では、 28では、 28では、 28では、 28では、 28では、 28では、 28では、 28では 28では 28では 28では 28では 28では 28では 28では	を行為の違いを説明できる。 たみ、事件の概要及び争点、 たみ、事件の概要及び争点、 すること」の問題点を説明で 事件を「刑事訴訟」として扱 関にレポートを作成する。 をある。	
後期	3rdQ	4週 5週 6週 7週 8週 9週	環境と法1 不法行 環境と法2 原告通 環境と法3 刑事事 中間試験 II 部の導入 エネルギーに関する			公害事の 公判の書の にきる。 いう いう いう いう いう いう いう いう いう いう いう いう いう	不法行為。 件に関する 立場を説明 件に場を説明 以外が訴記 、の概要を説明 内容につい て、この概要を で、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、この	上特殊不法 3月で 3月で 3月で 3月で 3月で 3月で 3月で 3月で 3月で 3月で	は行為の違いを説明できる。 おみ、事件の概要及び争点、 おみ、事件の概要及び争点、 すること」の問題点を説明で 事件を「刑事訴訟」として扱 内にレポートを作成する。 を を は は は は は は は は は は は は は	
後期	3rdQ	4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	環境と法1 不法行 環境と法2 原告通 環境と法3 刑事事 中間試験 II 部の導入 エネルギーに関する 人口と食料に関する			公害事の 公判の事の 「きる。 会際の 「いる」 「いる」 「いる」 「いる」 「いる」 「いる」 「いる」 「いる」	不法行為。 件に関する 立場を説明 件に場を説明 以外が訴記 、の概要を説明 内容につい て、この概要を で、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、この	上特殊不法 3月で 3月で 3月でを 3月でを 2月でを 2月で 3月でを 2月で 3月で 3月で 3月で 3月で 3月で 3月で 3月で 3月で 3月で 3	は行為の違いを説明できる。 おみ、事件の概要及び争点、 おみ、事件の概要及び争点、 すること」の問題点を説明で 事件を「刑事訴訟」として扱 内にレポートを作成する。 きる。 と課題を説明できる。 に課題を説明できる。 こ課題を説明できる。	
後期	3rdQ 4thQ	4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	環境と法1 不法行 環境と法2 原告通 環境と法3 刑事事 中間試験 II 部の導入 エネルギーに関する 人口と食料に関する 自然災害に関する資			公害事の 公事の 当人る。 当の いうの いうの いうの いうの いうの いうの いうの いうの いうの いう	不法行為。 件に関する 中に場を説明 小は場を説明 小は場を説明 小は題を記明 内の概要の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	上特殊不 高月で 高月で 高月でを まりでを まりでを まりでを まりでを まりでででは でででは でででは でででは でででは でででは でででは でででは でででは ででは でででは ででは でいて でいて に に に に に に に に に に に に に	は行為の違いを説明できる。 売み、事件の概要及び争点、 売み、事件の概要及び争点、 すること」の問題点を説明で 事件を「刑事訴訟」として扱 内にレポートを作成する。 きる。 ご課題を説明できる。 ご課題を説明できる。 ご課題を説明できる。 ごごいて説明できる。	
後期		4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	環境と法1 不法行環境と法2 原告通環境と法3 刑事事中間試験 II 部の導入 エネルギーに関する 自然災害に関する 資自然災害に関する 資	万為としての公害 通格 事件としての公害 3資料を読む 3資料を読む 3資料を読む(1) 資料を読む(2) 資料を読む(3)		公判 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	不法行為。 件に場する。 件に場を説する。 一に場を説する。 一にのは、 一にので。 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは。 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にので。 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。	上特殊不法 3	は行為の違いを説明できる。 売み、事件の概要及び争点、 売み、事件の概要及び争点、 すること」の問題点を説明で 事件を「刑事訴訟」として扱 内にレポートを作成する。 きる。 ご課題を説明できる。 ご課題を説明できる。 ご課題を説明できる。 ごごいて説明できる。	
後期		4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	環境と法1 不法行環境と法2 原告通環境と法3 刑事事中間試験 II 部の導入 エネルギーに関する 自然災害に関する 資自然災害に関する 資自然災害に関する 資自然災害に関する 資質 対策 に関する 資質 対策 に関する 資質 対策 に関する 資	万為としての公害 通格 事件としての公害 3資料を読む 3資料を読む 3資料を読む(1) 資料を読む(2) 資料を読む(3)		公判の事の間。 等の事の間。 を対している。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしてい。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしてい。 をしている。 として、 をして。 をして、 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。	不法行為。 件に場する。 件に場を説する。 一に場を説する。 一にのは、 一にので。 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは。 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にので。 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 一にのでは、 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。	上特殊不	は行為の違いを説明できる。 たみ、事件の概要及び争点、 たみ、事件の概要及び争点、 たること」の問題点を説明で 事件を「刑事訴訟」として扱 関にレポートを作成する。 をる。 と課題を説明できる。 に対けて説明できる。 できる。 同できる。 同できる。 同できる。 同できる。	
	4thQ	4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	環境と法1 不法行環境と法2 原告通環境と法3 刑事事中間試験 II 部の導入 エネルギーに関する 自然災害に関する 資自然災害に関する 資自然災害に関する 資自然災害に関する 資育 対災害に関する 資富 対災害に関する 資本 対象	所為としての公害 適格 事件としての公害 3資料を読む 3資料を読む 資料を読む(1) 資料を読む(2) 資料を読む(3) 資料を読む(4)		公判の事の間。 等の事の間。 を対している。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしてい。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしてい。 をしている。 として、 をして。 をして、 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。	不法行為。在外域の一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、	上特殊不	は行為の違いを説明できる。 たみ、事件の概要及び争点、 たみ、事件の概要及び争点、 たること」の問題点を説明で 事件を「刑事訴訟」として扱いて以上ポートを作成する。 をる。 と課題を説明できる。 に対けて説明できる。 できる。 同できる。 同できる。 同できる。 同できる。 同できる。	
モデルニ	4thQ	4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	環境と法1 不法行環境と法2 原告通環境と法3 刑事事中間試験 II 部の導入 エネルギーに関する 人口と食料に関する 資自然災害に関する 資自然災害に関する 資自然災害に関する 資力 対策 に関する 資力 対策 と 対策 に関する 資力 対策 と 対策	所為としての公害 適格 事件としての公害 3資料を読む 3資料を読む 3資料を読む(1) 資料を読む(2) 資料を読む(3) 資料を読む(4)		公判の事の間。 等の事の間。 を対している。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしてい。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしてい。 をしている。 として、 をして。 をして、 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。	不法行為。在外域の一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、	上特殊不	は行為の違いを説明できる。 売み、事件の概要及び争点、 売み、事件の概要及び争点、 たること」の問題点を説明で 事件を「刑事訴訟」として扱いにレポートを作成する。 を認定を説明できる。 には、できる。 には、できる。 について説明できる。 できる。 について現状と課題を説明できる。 について現状と課題を説明できる。	
モデルニ	4thQ	4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	環境と法1 不法行環境と法2 原告通環境と法3 刑事事中間試験 II 部の導入 エネルギーに関する 人口と食料に関する 資自然災害に関する 資自然災害に関する 資自然災害に関する 資力 対策 に関する 資力 対策 と 対策 に関する 資力 対策 と 対策	所為としての公害 適格 事件としての公害 3資料を読む 3資料を読む 資料を読む(1) 資料を読む(2) 資料を読む(3) 資料を読む(4)	西 示	公判の事の間。 等の事の間。 を対している。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしてい。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしてい。 をしている。 として、 をして。 をして、 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。	不法行為。在外域の一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、	上特殊不	は行為の違いを説明できる。 たみ、事件の概要及び争点、 たみ、事件の概要及び争点、 たること」の問題点を説明で 事件を「刑事訴訟」として扱いて以上ポートを作成する。 をる。 と課題を説明できる。 に対けて説明できる。 できる。 同できる。 同できる。 同できる。 同できる。 同できる。	
モデル: ^{分類}	4thQ コアカリキ	4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	環境と法1 不法行環境と法2 原告通環境と法3 刑事事中間試験 II 部の導入 エネルギーに関する 人口と食料に関する 資自然災害に関する 資自然災害に関する 資自然災害に関する 資力 対策 に関する 資力 対策 と 対策 に関する 資力 対策 と 対策	所為としての公害 適格 事件としての公害 3資料を読む 3資料を読む 3資料を読む(1) 資料を読む(2) 資料を読む(3) 資料を読む(4)		公判の事の間。 等の事の間。 を対している。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしてい。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしている。 をしてい。 をしている。 として、 をして。 をして、 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。 をして。	不法行為。在外域の一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、	上特殊不	は行為の違いを説明できる。 売み、事件の概要及び争点、 売み、事件の概要及び争点、 たること」の問題点を説明で 事件を「刑事訴訟」として扱いにレポートを作成する。 を認定を説明できる。 には、できる。 には、できる。 について説明できる。 できる。 について現状と課題を説明できる。 について現状と課題を説明できる。	
モデル: ^{分類}	4thQ コアカリキ	4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	環境と法1 不法行環境と法2 原告通環境と法3 刑事事中間試験 II 部の導入 エネルギーに関する 人口と食料に関する 資自然災害に関する 資自然災害に関する 資自然災害に関する 資力 対策 に関する 資力 対策 と 対策 に関する 資力 対策 と 対策	所為としての公害 適格 事件としての公害 3資料を読む 3資料を読む 3資料を読む(1) 資料を読む(2) 資料を読む(3) 資料を読む(4)	票	公判の事の間。等ののバルとと大本トきのIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	不法行為。在外域の一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、	上 特 外 さ る の で で で で で で で で で で で で で	は行為の違いを説明できる。 あみ、事件の概要及び争点、 あみ、事件の概要及び争点、 すること」の問題点を説明で ないない。 ないでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでできる。 は、またのできる。 は、またのいて現状と課題を説 を行う。	
	4thQ コアカリキ 合 I	4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 -ユラムの	環境と法1 不法行環境と法2 原告通環境と法3 刑事事中間試験 II 部の導入 エネルギーに関する 自然災害に関する 資自然災害に関する 資自然災害に関する 資自然災害に関する 資学期末試験 答案返却 学習内容と到達 学習内容	万為としての公害 適格 事件としての公害 3資料を読む 3資料を読む(1) 資料を読む(2) 資料を読む(3) 資料を読む(4) 資料を読む(4)		公判の事の間。等ののバルとと大本トきのIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	不供立件立以 、間内スギ食自震大ラる内では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	上 特 外 さ る の で で で で で で で で で で で で で	は行為の違いを説明できる。 あみ、事件の概要及び争点、 あみ、事件の概要及び争点、 すること」の問題点を説明で ないないでは、 ないないないないないないない。 ないないないないないないないないないない。 ないないないない	
モデル: 分類 評価割合	4thQ コアカリキ 音 I 割合 50	5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 - 一 分野	環境と法1 不法行環境と法2 原告通環境と法3 刑事事中間試験 II 部の導入 II では関する 自然災害に関する 自然災害に関する 自然災害に関する 資 自然災害に関する 資 自然災害に関する 資 学期未試験 答案返却 学習内容と到達 学習内容	万為としての公害 通格 事件としての公害 3資料を読む 3資料を読む(1) 資料を読む(2) 資料を読む(3) 資料を読む(4) 運料を読む(4)	態度	公判の間。等ののバルとと大本トきの ・の事の間。等ののバルとと大本トきの ・の事の間。等ののバルとと大本トきのの。	不供立件立以 、間内スギ食自震大ラる内では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	上 特殊	は行為の違いを説明できる。 あみ、事件の概要及び争点、 あみ、事件の概要及び争点、 あること」の問題点を説明で ないた。 ないた。 ないた。 ないた。 ないた。 ないた。 ないた。 ないた。	
モデル: 分類 評価割合 総合評価	4thQ コアカリキ 会 I 割合 50 カ 50	5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 - 一 分野	環境と法1 不法行環境と法2 原告通環境と法3 刑事事中間試験 II 部の導入 エネルギーに関する 自然災害に関する 自然災害に関する 資自然災害に関する 資自然災害に関する 資学期末試験 答案返却 学習内容 と到達 学習内容	所為としての公害 適格 事件としての公害 3資料を読む 3資料を読む 3資料を読む(1) 資料を読む(2) 資料を読む(3) 資料を読む(4) 質料を読む(4) 質料を読む(4)	態度 0	公判の間の間のののパルとと大本トきの別別の関係を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	不供立件立以 、間内スギ食自震大ラる内では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	 特殊対き 記す このででは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは	は行為の違いを説明できる。 あみ、事件の概要及び争点、 あみ、事件の概要及び争点、 すること」の問題点を説明で 事件を「刑事訴訟」として扱いにレポートを作成する。 は課題を説明できる。 について説明できる。 できる。 同できる。 南えについて現状と課題を説明できる。 できる。 日できる。	